

1	審議会名	真田地域協議会
2	日 時	平成29年6月27日(火) 午後7時00分から午後8時30分まで
3	会 場	真田地域自治センター3階 301会議室
4	出席者	一之瀬勤委員、倉島秀紀委員、倉嶋幸雄委員、駒村厚子委員、齊藤恵委員、 関千代子委員、高寺由美子委員、竹倉征祠委員、竹村尚美委員、鶴岡政明委員、 長崎理恵子委員、西牧真吾委員、藤澤累美子委員、本田寿子委員、松本規男委員、 丸山恵子委員、宮下俊哉委員、宮島国彦委員、山宮徳男委員、若林正徳委員
5	市側出席者	山宮センター長、塚田地域振興課長、堀内市民サービス課長 桜井産業観光課長、大熊建設課長、越上下水道課長、清水教育事務所長 瓶子真田消防署長、宮崎地域政策担当係長、伊藤主査、春原主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成29年7月26日

協議事項等

会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 センター長あいさつ
- 4 前回決定事項確認
 - ・事務局から、前回決定事項の説明・確認
- 5 報告・確認事項
 - (1) 住民自治組織について
 - 事務局から、7月1日設立予定の真田の郷まちづくり推進会議の議案となる「規約(案)」について説明
 - ・質問意見 なし
 - 事務局から、「役員及び評議員の選任(案)」について説明
 - ・以下、質疑内容
 - (委員) 選任された役員について、どのような活動されている方なのか教えて欲しい。
 - (会長) ・各役員の活動内容を説明
 - 事務局から、「平成29年度事業計画(案)」、「平成29年度収入支出予算(案)」について説明
 - ・以下、質疑内容
 - (委員) 人件費について、積算している単価の根拠を教えてください。
 - (会長) 上田市の基準等を参考に算出した。
 - (事務局) 上田市特別職の職員等の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例を適用させていただいている。人件費はおよそ180万円を見込んでいるが、実際に活動してみないとわからない部分があり次年度以降も見直しを行いながら進めていく。
 - (委員) 収入の部の科目で1,000円を当て込んでいる科目があるが、なぜ1,000円なのか。
 - (会長) 収入の部の「寄付金賛助金」「会費収入」「助成金」について、1,000円を計上している。実際には予定がないものであるが、事業を実施していく中で、上田市の交付金だけに頼ってしまう発想になる可能性があり、意識付けさせるために計上させていただいた。当初は0円で計上していたが、行政における予算の仕組みを参考にして1,000円とした。
 - (委員) 名称について、当初は「仮称」となっていたが、いつ仮称が取れたのか。二点目、規約の附

則の中で「設立時の会員は真田まちづくり準備会が依頼した自治会及び各種団体の代表者とする」とあるが、設立時の会員は何名となるか。三点目、この会議の運営は理事会と評議員だけで予算の執行から事業の実施まで全部できしまう。総会的なものが規定されていない。会員への報告はどのように考えているのか。

(会長) 名称については、真田まちづくり準備会で一任されており、準備会において決定させていただいた。

(事務局) 総会への出席を依頼した方は、自治会 36 名、各種団体 17 名にお願いしている。準備会では自治会長や自治会の皆さんに負担をかけないでどのような仕組みをつくるかを検討してきた。推進会議は理事会だけで運営するのではなく、地域協議会の皆さんが評議員となり決議機関としての役割を担っていただく。また、年 1 回住民対象の懇談会を開催し、事業内容を説明するとともに、住民の考えや御意見をいただき、その内容を最大限、推進会議の運営に生かしていきたい。

(会長) まちづくり懇談会では、活動内容を報告しながら、一緒に地域の将来を考えていく懇談会にしたいと思っている。

- ・その他、質問意見なし
→案のとおり了解された

(2) わがまち魅力アップ応援事業の審査方法について

- ・事務局から、わがまち魅力アップ応援事業の審査方法について説明
- ・質問意見なし

(3) 次回協議会開催日時の確認

- ・第 3 回真田地域協議会
開催日時：平成 29 年 7 月 25 日（火）午後 7 時から

(4) その他

6 閉会